



Drawing Dreams!!

～児童養護施設の子もたちと夢を語り合う～

団体名 **宮地ゼミナール** | 商学部 国際ビジネス学科 3年
代表者 Israilova Farangiz 他27名

実施スケジュール

平成26年7月2日～12月24日

7月10日・17日	学生チャレンジ企画ミーティング		
8月28日・9月8日	施設との打ち合わせ(ゼミ生4名が訪問)		
9月12日	葛西臨海公園下見(ゼミ生1名が葛西臨海公園に訪問)		
9月14日	お菓子・プレゼント買い出し		
9月15日	学生チャレンジ企画実施日		
9月18日・25日	<文京>学生チャレンジ企画の振り返り(3年生・4年生)		
9月24日・10月1日	<八王子>学生チャレンジ企画の振り返り(2年生)		
12月18日	施設へ贈るクリスマスプレゼントについての話し合い		
12月19日	クリスマスプレゼントの買い出し(ゼミ生2名)		
12月24日	施設にクリスマスプレゼントを贈る		

【9月15日(企画実施日)のスケジュール】

8:35	茗荷谷駅周辺集合
8:45	バス乗車
9:00	バス出発
10:00	施設の皆様乗車
10:10	施設出発
11:00	葛西臨海公園到着
12:10	昼食(葛西臨海水族園内「シーウィンド」)
12:50	葛西臨海公園散策
13:15	水族園の見学
15:00	遊び時間(観覧車、鬼ごっこ、だるまさんが転んだ、ドッジボールなど)
16:10	バス乗車
16:20	葛西臨海公園出発
17:20	施設到着(代表お礼の挨拶など)
17:50	バス出発
18:30	茗荷谷駅到着・解散

実施内容・成果

【準備期間】

7月に児童養護施設クリスマス・ヴィレッジに電話でアポイントを取り、子ども達や施設の現況について伺うため施設訪問を行った。

ゼミ生4名が施設に訪問し、企画への協力をお願いした。8月28日の訪問では、企画実施日の流れを説明し、施設の方からの子ども達との交流について、禁止事項の説明を伺った。9月8日の訪問では、施設の方と企画の実施確認を打ち合わせた。また、子ども達と顔を合わせて、事前に仲良くなれるように努めた。

【企画実施日】

施設の子も達、先生方と、葛西臨海公園でのふれあいボランティアを行った。

往復のバスの中で、子ども達とクイズやしりとり等のゲームをして楽しんだ。

葛西臨海公園に着いてからは葛西臨海水族園を一緒にまわり、観覧車に乗ったり、鬼ごっこやボール遊びなどをして、子ども達と交流した。

【企画実施後】

12月18日のゼミナールで、子ども達のためのプレゼントについて話し合った。

12月24日着で、施設にクリスマスプレゼント(お菓子、文房具、レゴブロックなど)を贈った。後日、施設の方からお礼の手紙をいただいた。

【成果】

今回の学生チャレンジ企画を通して、初めてのことも多く、いろいろと苦労したこともあった。しかし、大学に企画が採用されて活動を実施できたことは私達にとっても良い経験になったと言える。



観覧車前での集合写真



ゼミ生と子ども達と一緒にサッカーをして遊んだ



葛西臨海水族園での集合写真

私達が用意した企画で、子ども達に喜んでもらうことができ、本当に幸せな気持ちになった。施設の方にもお礼の手紙をいただく等、企画は成功だったと思う。

学生チャレンジ企画を実施した後、2年ゼミと3・4年ゼミの時間を利用し、企画の反省点を話し合った。また、ゼミ生全員の意見や感想を記録としてまとめた。

子ども達と過ごした時間が、子ども達にとっても良い思い出となってもらえればと思う。また、学生チャレンジ企画を通して、ゼミ内の結束をより強いものにできたことも今回の企画の大きな成果であった。



バスの中ではクイズ大会で盛り上がった

反省点など

【反省点】

- ゼミ生の多くが事前に子ども達と顔合わせが出来ずに当日を迎えてしまった。子ども達は快く私たちと接してくれたが、施設の子も達との交流に、もっと慎重に備えておくべきであった。
- 施設の方々から事前に説明されたルールを守れていなかった場面があった。写真撮影に関する事等、多くの事項に細心の注意を払わなければいけないと反省した。
- 事前に葛西臨海公園についての下調べが十分にできていれば、下調べをした内容をしおりにするなどして子ども達に渡すこともできて、さらに楽しんでもらえたかもしれない。

【良かった点】

- 普段接することのない子ども達と接することで、心温まるよい体験ができた。子ども達も非常に楽しんでいて、良い雰囲気を作ることができた。
- 学生チャレンジ企画を通して、企画を運営、実施することの大変さや面白さを実感することができた。
- 学生チャレンジ企画に参加し、数多くの企画の中から選ばれたことは大きな自信につながり、様々なことを考えさせられる貴重な機会となった。
- 学生チャレンジ企画をやり通したことで、普通の大学生活では味わえないような充実感や達成感を感じることができた。

収支報告

支出総額	235,438円	奨励金	130,000円
------	----------	-----	----------

内訳

項目	個数	小計
準備期間(6/28~9/14)		
交通費(最寄り駅⇄施設)	5名	8,308円
交通費(保険加入時)	1名	1,100円
お菓子代		2,157円
飲み物代		1,058円
包装代		216円
プレゼント代(玩具)		7,884円
バスレンタル代		86,400円
保険料(ボランティア保険)	28名	8,400円
保険料(貸し切りバス)	46名	7,050円
振込手数料		648円
企画実施日(9/15)		
交通費(最寄り駅⇄茗荷谷駅)	11名	14,732円
水族園入場料	27名	15,120円
観覧車 乗車券代	44名	27,720円
昼食代	46名	34,860円
企画実施後(9/16~12/24)		
便箋代		198円
プレゼント代		19,587円
合計		235,438円

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ http://gakuchalle.jp/2014/n07_kikakusyo.html
- 10月中旬報告▶ http://gakuchalle.jp/2014/n09_centerreport.html
- 学チャレレポート▶ http://gakuchalle.jp/2014/n08_gakuchallereport.html